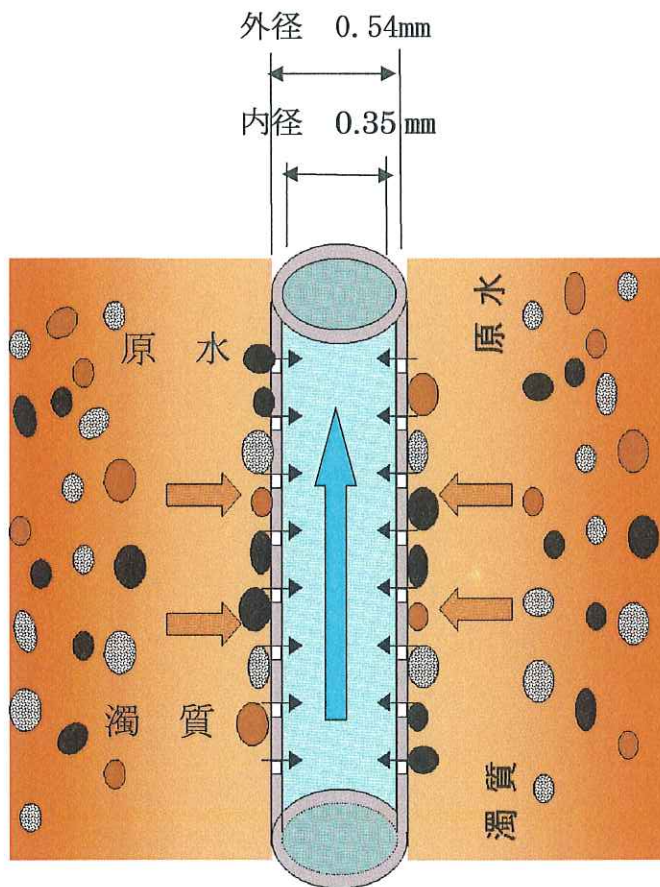


○浸せき式膜ろ過施設とは

マイクロメートル

ストロー状の糸表面に非常に微細な穴 ($0.1\mu\text{m}=0.0001\text{mm}$) を持つ「中空糸膜」を約 12 万本束ねてモジュール化したものを原水の水の中に設置し、細菌や濁りの成分を除去するろ過施設。

例えて言うと、ストローの表面に細菌や濁りの成分が除去できる非常に微細な穴をあけ、それを原水の水の中に入れることで、ストロー内にろ過されたきれいな水を作るものである。



細菌や濁りの成分は通ることのできない微細な穴がストロー状の糸表面にあいていて、きれいな水だけが中に浸透していき、それをくみあげることによって水道水を作っている。

○太陽光発電設備

$$\text{有効電力[kW]} = \text{皮相電力[kVA]} \times \text{力率}$$

\downarrow \downarrow
 需要電力 供給電力

力率 0.73 ぐらいであることから、 $8\text{KVA/h} \times 0.73 = 5.84\text{KW/h}$ となる。

年間予想発電量 = $3.61 \times 0.73 \times 8 \times 365 \div 7,700\text{kwh}$

一般家庭 (4 人家族) 年間電力使用量 約 4,200kwh

$$7,700 \div 4,200 \div 1.8$$

となることから、約 2 軒分と想定できる。